

## 令和 4 年度 第 1 回医療連携推進会議 会議内容概要

|      |  |
|------|--|
| 日 時  | 令和 4 年 9 月 2 日 (月) 午後 2 時～3 時 3 0 分  |
| 開催場所 | ウェブ会議 (Zoom 会議) 近江八幡市総合福祉センターひまわり館 研修室 2・3   |
| 出席者  | 櫃本会長、宮下副会長、高田委員、磯矢委員、田村委員、角野委員、辻井委員、松浦委員 計 8 名   |
| 欠席者  | 柴田委員   |
| 傍聴者  | なし   |
| 事務局  | 長寿福祉課  |
| 議事事項 | 第 8 期 総合介護計画 目標達成に向けた取組について (医療連携推進会議分)  |
| 内 容  | <p>○開会あいさつ (長寿福祉課長)</p> <p>○委員紹介</p> <p>○報告事項</p> <p>【議事】第 8 期 総合介護計画 目標達成に向けた令和 4 年度の取組について</p> <p>事務局より、令和 2 年度に策定した第 8 期計画の体系および、目標達成に向けて作成した具体的な事業計画「在宅医療・介護連携推進事業計画」に沿って取組内容とその結果・効果について、意見を求めた。</p> <p>&lt;主な意見等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近江八幡市の取り組みは、中目標、小目標を見るとわかるように、自分らしい生き方、死に方を住民や患者の力を引き出すことによって実現していこうということで行行政や専門家が周辺から支えて、特に疾病対応だとか障害対応で支えてきたやり方をもっと日常的に、セルフケアを促進することによって、自らの力によって早めに対応することで、初めて自分らしい生き方が実現できるという。口で言うのは簡単ですが、これはもう考え方の大改革だと思う。</li> <li>・以前はつながりネットに医師が参加していたが、今回、参加者の職種を見ると医師が少ない。やはり、医療というのは、介護のことも考えながらしていけないので、もう少し医師が参加するのが本来の姿ではないかと思う。</li> <li>・歯科の予防という観点から見ると、人によりますが、やはり女性は、非常に意識が高い。定年を迎えて、家におられる男性は、口の中も綺麗ではない方が多く、そういう意味では、歯周病も酷くなっている方が多い状況である。</li> <li>・専門職同士が情報を共有する必要性は、これまでも今後も必要だが、住民自体がそういうものを知ってないといけない時代になってきたのかなと思う。特に高齢じゃなくて、若いときからそういう情報を持っているということが大事。</li> </ul> <p>○審議事項</p> <p>【議事】在宅医療・介護連携推進事業「小目標 3」に関する具体的な取組について</p> <p>事務局より、在宅医療・介護連携推進事業「小目標 3」に関する具体的な取組</p> |

みについて、方向性や取組内容について意見を求めた。

<主な意見等>

- ・一番大事なことは住民のセルフケア意識を上げながらパフォーマンスを上げていくことで、疾病対策や何か病気を未然に防ぐという発想ではなくて、より自らの力を引き出せる住民を増やすところに狙いがある。
- ・嚥下（食べる、噛む、飲み込む）、排泄については、QOL への影響も大きく非常に重要なことである。
- ・生活指導をしても、ご本人がなかなか納得しない、楽をして健康になりたいという希望を持たれる方もおられるので、繰り返し、繰り返し指導するしかない。
- ・医療・介護者がこれまで繰り返し、致し方ないと思って受け入れてやってきたことを、今後はそれを健康な間に知らせていくことを、地道にやっていくしかない。恐らく、身近な場所で、身近な先生から言われた事は信頼関係から、割と印象に残ると思う。通いの場、フレイルの予防の場、それぞれの診療の場で、いかに伝えていくかということが求められているのではないか。
- ・滋賀県でも、2019年から自立排尿プロジェクトというのをやっており、介護職や住民等に対して排尿に関する研修をしており、その取り組みを踏まえて言うと、専門職だけではなく、今、元気な人、サロンとかそういう高齢者が集まる場とかではなく、企業などで正しい知識を伝えることによって、将来的なことを考えたらこういうことができるよってということを言える人たちがもっと増えたらいいと思う。
- ・市民が差し迫った状況ではなく、前もって、自分らしく生活していくための情報提供を自分のこととして捉え、それを生活に活かしていけるように、各関係機関が協力し合いながら、それを支援していくという方向で取り組みを進めてはどうか。

【在宅医療・介護連携推進事業「小目標3」に関する具体的な取り組みとして、専門職が、排泄（排尿）・嚥下等の観点から住民啓発を行いパフォーマンスの向上を図ることで合意】

○その他 特になし

○閉会のあいさつ（宮下副会長）